

1. 科目名 (単位数)	障害者・障害児心理学／障害児・者の心理 (2単位)		3. 科目番号	PSMP3117 SSMP3332 SNMP3332 SCMP3332 SBMP3332 PSMP3124 EDPS3304
2. 授業担当教員	若松 直樹			
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	特にありません			
7. 講義概要	身体障害、知的障害及び精神障害の概要とその特性を理解し、その心理的影響と併せて、それぞれの障害を持つことで発達段階に応じた心理的影響を理解する。また、障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援とその人を取り巻く家族や社会のあり方や制度を学ぶ。			
8. 学習目標	1. 身体障害、知的障害及び精神障害の概要を理解し、一般的な心理的傾向を把握し、説明することができる。 2. 障害児・者を持った家族の心理を理解し、説明することができる。 3. 障害受容の一般的な過程とその実態について理解し、説明することができる。 4. 障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援や制度を理解し、自分の考えを述べることができる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	○評価のもとになるレポート課題 講義で取り上げたテーマのなかで、あなたの関心事項や問題意識を自身の言葉でまとめながら、その問題に心の支援者 (たとえば公認心理師や臨床心理士など) にはどのような関与が考えられるか述べなさい。 ○レポートの執筆量や提出期限などはおって示します。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】公認心理師の基礎と実践 13 障害者・障害児心理学、柘植雅義・石倉健二・野口和人・本田秀夫 (編), 遠見書房 (定価: 本体 2,600 円+税)			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 次の 1～4 について理解し説明できるか。 1. 身体障害、知的障害及び精神障害の概要と一般的な心理的傾向 2. 障害児・者を持った家族の心理 3. 障害受容の一般的な過程とその実態 4. 障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援や制度 ○評定の方法 平常点 (授業態度・授業への参加・授業内諸活動) 40% まとめの課題 (テスト・レポート・発表などの活動) 60%			
12. 受講生へのメッセージ	人間は疾病や障害を抱えることが珍しくはありません。「障害者・障害児」という人々がいるのではなく、「健常」と「障害」の境界線を広く捉える相互の関わりが大切なはずです。一緒に考えてゆきましょう。			
13. オフィスアワー	講義内でお知らせします。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	イントロダクション 「障害者・障害児」とは?	事前学習	自身の「障害者・児」イメージを考える。	
		事後学習	「障害者・児」の支援とは何かを考える。	
第 2 回	第 1 章 障害者・障害児心理学とはなにか	事前学習	第 1 章 (PP. 11-19) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 3 回	第 2 章 身体障害の概要	事前学習	第 2 章 (PP. 23-36) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 4 回	第 3 章 知的障害の概要	事前学習	第 3 章 (PP. 37-46) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 5 回	第 4 章 精神障害の概要	事前学習	第 4 章 (PP. 47-59) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 6 回	第 5 章 発達障害の概要	事前学習	第 5 章 (PP. 60-71) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 7 回	第 6 章 身体障害を取り巻く心理社会的課題	事前学習	第 6 章 (PP. 75-88) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 8 回	第 7 章 知的障害を取り巻く心理社会的課題	事前学習	第 7 章 (PP. 89-101) から問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 9 回	第 8 章 精神障害を取り巻く心理社会的課題	事前学習	第 8 章 (PP. 102-114) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 10 回	第 9 章 発達障害を取り巻く心理社会的課題	事前学習	第 9 章 (PP. 115-125) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 11 回	第 10 章 身体障害者への必要な支援	事前学習	第 10 章 (PP. 126-135) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 12 回	第 11 章 知的障害者への必要な支援	事前学習	第 11 章 (PP. 136-146) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	
第 13 回	第 12 章 精神障害者への必要な支援	事前学習	第 12 章 (PP. 147-167) の問題意識を創出する。	
		事後学習	講義ほかから拓がった理解を言葉にする。	

第14回	第13章 発達障害者への必要な支援	事前学習	第13章(Pp.168-180)の問題意識を創出する。
		事後学習	講義ほかから拡がった理解を言葉にする。
第15回	コンクルージョン 「障害者・障害児」と「健常者」	事前学習	「障害」支援の力点を意識する
		事後学習	自身の「障害」観を構築する